



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

愛知県支部

No.163

2025. 夏

日赤あいち

▶ CLOSE UP

人生100年時代に高齢者が元気に活躍し、心豊かに暮らすために

▶ TOPICS

▶ 令和6年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

▶ Information



Information インフォメーション

この夏、この一步が、誰かの力に。

10代 夏の献血キャンペーン

愛知県赤十字血液センターでは、「10代夏の献血キャンペーン」を実施します。県内9カ所の献血ルームまたは献血バスで献血の受付をされた10代学生の方にオリジナル記念品をプレゼントします。※なくなり次第終了となります。

期間は令和7年7月（予定）から同年9月30日までです。
※詳細は当センターHPをご覧ください。

近年、若い方々の献血へのご協力が減少傾向にあります。輸血用血液を必要とする患者さんの命を守るために、若い方々の献血へのご協力が必要です。

ぜひ、この機会に献血へのご協力をよろしくお願いします。



活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- ▶ 江口光株式会社 様
- ▶ 川崎設備工業株式会社 様
- ▶ 三協化成産業株式会社 様
- ▶ シンコー株式会社 様
- ▶ ヒダ電気株式会社 様
- ▶ 医療法人東仁会 とうじま内科・外科クリニック 様
- ▶ 株式会社大日 様
- ▶ 株式会社ネクステージ 様
- ▶ 株式会社パロマ 様
- ▶ 株式会社ミニミニグループ 様

赤十字事業は、皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。

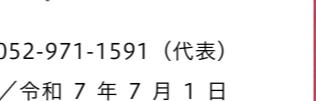
郵便振替口座／00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの振込取扱票でお手続きください。

 日本赤十字社 愛知県支部
Japanese Red Cross Society

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL 052-971-1591（代表）

発行元／日本赤十字社愛知県支部 発行日／令和7年7月1日

 日赤あいち
NISSEI_AICHI


検索

https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/about/

日本赤十字豊田看護大学 8月・9月オープンキャンパス開催!

日本赤十字豊田看護大学では令和7年8月20日（水）に中学生・高校生向けオープンキャンパスを開催します！

赤十字の看護大学の特色を活かした災害看護学の看護体験や国際救援に関する講演会、国際交流に参加した学生の体験談発表、在学生と直接話せる個別相談コーナーやキャンパスツアーがあります。

また、高校生の保護者向けオープンキャンパスを9月27日（土）に開催します。学費や学生サポート制度などの説明とともに、本学最新の学修教材のデモ見学などを行います。

参加をご希望の方は本学ホームページからお申込みください。皆さんのご参加を心よりお待ちしております！



令和6年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

令和6年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費（社費）や寄付金を主な財源として、災害救護事業をはじめとした人道支援活動を実施しました。日本赤十字社代議員会で承認されましたので報告します。

歳入

内訳

	決算額	構成比
① 社資収入	1,784,856,179円	61.9%
② 委託金・補助金及び交付金収入	75,906,908円	2.6%
③ 資金繰入（規則改正対応のため）	660,129,000円	22.9%
④ 資産収入・雑収入	31,444,895円	1.1%
⑤ 前年度繰越金	329,696,997円	11.4%

合計

2,882,033,979円 100.0%

歳出

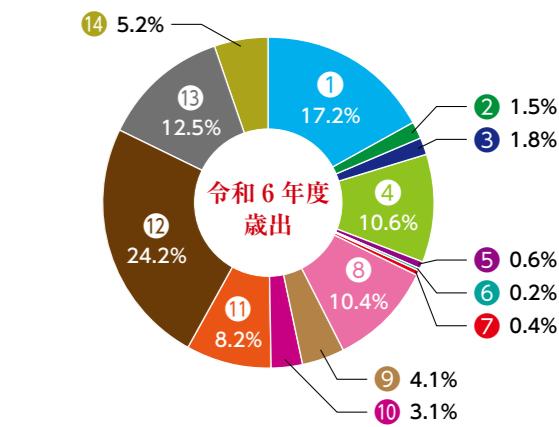
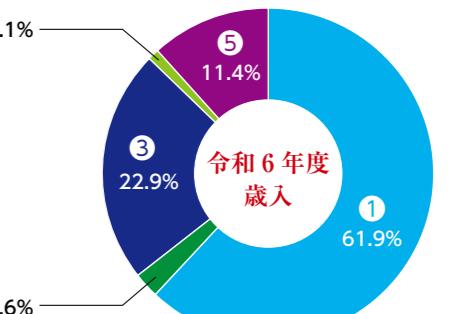
内訳

	決算額	構成比
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	469,468,832円	17.2%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	40,953,032円	1.5%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	48,210,970円	1.8%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	289,829,449円	10.6%
⑤ 社会福祉事業などに	16,802,333円	0.6%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,277,080円	0.2%
⑦ 国際的な活動に	10,600,000円	0.4%
⑧ 赤十字病院救急医療体制の整備に	284,613,325円	10.4%
⑨ 広報・活動資金募集のために	110,522,661円	4.1%
⑩ 市町村における赤十字活動に	84,010,295円	3.1%
⑪ 全国的な赤十字活動に	224,978,426円	8.2%
⑫ 資金繰出（規則改正対応のため）	660,129,000円	24.2%
⑬ 将來の赤十字活動に	339,870,000円	12.5%
⑭ 支部の運営に	142,056,845円	5.2%

合計

2,727,322,248円 100.0%

*歳入歳出差引額154,711,731円は翌年度の事業実施のために繰り越されました。



PICK UP

災害救護活動～地域のための防災・減災訓練～



青少年赤十字～子ども新聞プロジェクト～

子ども新聞プロジェクトは、東日本大震災をきっかけに「過去の震災から学んだ教訓を防災・復興につなげよう」とスタートしました。令和6年度は子ども記者が大阪府・兵庫県を訪問し新聞を作成。完成した新聞は加盟小学校に配布することで、防災教育の教材として活用されています。



※事業報告の詳細については、

日本赤十字社愛知県支部
ウェブサイトでご覧いただけます。<https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/about/>

人生100年時代に高齢者が元気に活躍し、心豊かに暮らすために

「愛知県支部が取り組む高齢者健康生活支援事業」

「趣味」「おいしくご飯を食べる」「外出」など、皆さん元気で過ごすための源になっているものは何でしょうか?もしも、それができなくなってしまう日が来たら…。

今回は、愛知県支部が県内各地で展開している健康づくりや生きがいづくりをはじめとする高齢者健康生活支援事業をご紹介します。

誰もが生きがいを感じ笑顔で過ごせる地域を目指して

美浜町での多世代交流会

5月12日(月)、美浜町立野間保育所にてスポーツを通じた多世代交流会を実施しました。これは愛知県支部が包括協定を締結する社会人サッカークラブFC刈谷の児島拓哉選手、久保壮輝選手に参加いただき、スポーツを通じた多世代交流会が実現しました。

今回の交流会では保育園児と社会福祉法人瑞祥(特別養護老人ホームビラ・オレンジ等)を利用されている方々、地域の高齢者サロンの参加者などでチームをつくり、PK合戦や宝探しゲームを行い、会場は大盛況でした。

イベントで使用されたボールや応援グッズなどは、全て社会福祉法人瑞祥を利用している方々の手作りで、ゴールが決まる度に皆でハイタッチする光景が微笑ましい交流会となりました。

参加してくれた園児からは、「選手と一緒にサッカーできて楽しかった!」、また老人ホームの利用者の方からは「いつも園児から沢山の元気をもらっていて、今日も本当に楽しかった。いつまでもこの子たちが笑顔で生きていけることを心から願います。」との言葉をいただきました。



市町村と連携した地域の支えあいを通じた高齢者健康生活支援事業

高齢者のひとり暮らしが増加する中、愛知県支部は、高齢者の地域での孤立を防ぎ、社会参加を促し、健康増進に資する環境づくりを目的として、介護・フレイル予防のための健康講座や健康チェックブースの設置、赤十字健康生活支援講習の開催、移動や外出の支援など、県内の市町村や企業等と連携して総合的に支援する事業を展開しています。

また、県内にある各赤十字施設からも職員を派遣し、高齢者の健康づくりに寄与する活動を実施しています。

連携企業による健康増進プログラム



行政と協働した高齢者の移動支援



県内の各赤十字施設からも職員を派遣



方法やかたちは様々ですが、私たちが取り組むこれらの事業の根本にあるのは「ずっと元気でいてほしい」という思いです。「歳を重ねてもずっと健康で笑顔で暮らしほしい」そのためにはできることをもっと増やすために、今後も愛知県支部は各市町村や様々な企業団体と連携して高齢者健康生活支援事業に取り組んでいきます。

Topics

トピックス

活動やイベントを報告します

5月 赤十字運動月間のご報告

県内各地で赤十字奉仕団が赤十字へのご理解、ご支援を呼びかける活動を行いました。多くの方々に赤十字の啓発活動へご協力いただきました。ご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。



西尾市赤十字奉仕団



東山動物園での活動の様子

やごと日赤ふれあいひろばを開催しました!

たくさんのご来場ありがとうございました

5月31日(土)、やごと日赤ふれあいひろばを開催しました。当日は時折雨が降るなど天気が不安定な中でも、地域の皆さんをはじめとして1,000人の方にご来場いただきました。

実際に医療機器に触れたり、応急救手体験をした来場者からは「機械を触ることはなかなかできないので楽しかった」「いろいろ学べてよかったです」と感想をいただきました。また、SVリーグ所属の男子バレー部チーム「ウルフズ名古屋」のマスコットで、愛知県支部赤十字親善大使のウルドくんも参加し、会場を盛り上げてくれました。今回も国内救護や献血、看護大学など赤十字に関連したブースが多く出展し、多くの方に关心を寄せていただきました。

これからも地域の皆さんに寄り添った病院を目指していきます。



「幸せの再来」すずらんがANAグループから贈呈されました!

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一・第二病院を慰問

5月20日(火)、ANAグループから両病院にすずらんのお花としおりが贈呈されました。これは「安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します」を経営理念に掲げるANAグループが社会貢献活動の一環として取り組まれているもので、今年で70回目となりました。

客室乗務員と地上係員の方々から、北海道で育ったすずらんとしおりを直接手渡された患者さんが、明るい表情を浮かべてご自身やご家族と飛行機にまつわる思い出を楽しそうに語っていたのがとても印象的でした。

長きにわたるご厚意に心より御礼申し上げます。



すずらんのお花としおり贈呈